

平成 2 7 年度

下田中学校天井等落下防止改修工事

設 計 図

図 面 目 録

番 号	図 面 名 称	縮 尺	番 号	図 面 名 称	縮 尺
A－1	建築仕様書（そのⅠ）	－	A－10	2 階 平面図	1/100
A－2	建築仕様書（そのⅡ）	－	A－11	3 階 平面図	1/100
A－3	建築仕様書（そのⅢ）	－	A－12	断面図・アリーナ展開図	1/100
A－4	建築仕様書（そのⅣ）	－	A－13	3 階 天井伏図(現況)	1/100
A－5	建築仕様書（そのⅤ）	－	A－14	3 階 天井伏図(改修)	1/100
A－6	工事概要・仕上表	－	A－15	矩計図(現況)	1/50・1/20
A－7	案内図・配置図	1/500	A－16	矩計図(改修)	1/50・1/20
A－8	仮設計画図	1/500	A－17	ステージ平面・断面詳細図	1/50
A－9	1 階 平面図	1/100			

下田中学校天井等落下防止改修工事

工事設計図

平成 27 年 6 月（全 校）

仕様書

I 共通仕様

1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成25年版」（以下「改修標仕」という。）により、改修標仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成25年版」（以下「標仕」という。）による。

2. 改修標仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。

(1)「契約書」を「三条市財務規則（平成17年規則第40号）別記（第190条関係）建設工事請負基準約款」（以下「約款」という。）に読み替える。

(2)「監督職員」を「監督員」に読み替える。

(3)「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。

3. 次の各号に該当する改修標仕の項目について、改修標仕の規定を別表に置き換えて適用する。

(1) 1 章 1.1.2用語の定義の(1)、(14)及び(21)

(2) “ 1.4.2材料の品質等の(a)及び(b)

(3) “ 1.4.4材料の検査等の(a)

(4) “ 1.7.1工事検査の(b)及び(d)

4. 改修標仕の次の項目の規定は適用しない。

1 章 1.1.2 用語の定義の(22)

“ 1.7.2 技術検査

別 表（建築改修工事）

号	項 目	置 き 換 え 後 の 改 修 標 仕 の 規 定
	1 章 一般共通事項	
(1)	1.1.2 用語の定義	(1)「監督員」とは、約款第10条の規定により受注者に通知された者をいう。 (14)「書面」とは発行年月日が記載され、署名又は捺印した文書、及び新潟県CALSシステム上で電子決済処理された電磁的記録をいう (21)「工事検査」とは、約款に規定する次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。 ①工事の完成（約款第32条） ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等（約款第38条） ③部分引渡し指定部分に係る工事の完成（約款第39条） ④契約の解除時における出来形部分（約款第48条） ⑤必要があると認めたときの臨時検査（約款第50条）
(2)	1.4.2材料の品質等	(a)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。ただし、仮設に使用する材料は、新品でなくてもよい。 (b)使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、J I S又は J A Sのマーク表示のある材料を使用する場合及びあらかじめ監督員の承諾を受けた場合(次の(1)から(3)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。) は、資料の提出を省略することができる。 (1)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (2)建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で改修標仕及び標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。) (3)特記により指定された材料又は製造者の製品
(3)	1.4.4 材料の検査等	(a)現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。 ただし、次の(1)若しくは(2)に該当する場合またはあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (1)工事完成検査時または工事写真で、J I S若しくは J A Sのマークを確認できる場合 (2)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時または工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合
(4)	1.7.1 工事検査	(b)約款に規定する部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (d)(a)から(c)の通知に基づく検査及び約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に 検査を受ける。

II 特記仕様

1.項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。

2.特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

3.特記事項の記載の[. . .]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。

4.製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また() 内は製品名を示す。

章 項 目 特 記 事 項

1 工事実績情報の登録

2 概成工期

③ 内部の工事期間等

4 品質計画等

5 監理技術者の要件

6 電気保安技術者

⑦ 発生材の処理等

⑧ 特別な材料の工法

9 施工数量調査の方法

10 技能士

11 見本施工

12 化学物質の濃度測定

⑬ 完成図等

⑭ 施工図等の取扱

⑮ 工事完成写真

⑯ 工事施工状況写真

⑰ 設備工事との取合い

1 工事実績情報の登録

※請負工事費500万円以上の場合、登録する

[1.1.4]

2 概成工期

※無し ・有(工期 平成 年 月 日)

[1.2.1]

③ 内部の工事期間等

※着手 二期：平成 27 年11月30日 ～ 終了 平成 27 年12月30日までとする。

※工事請負約款第34条に基づき、部分使用承諾書により、施設内部の使用を開始する。

※次の作業は内部工事着手前に行える。ただし、着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議のうえ決定する。

※外部足場組等の仮設工事

※工場制作のための現場寸法調査

4 品質計画等

建築基準法に基づき指定する条件

[1.2.2]

・地区の区分に応じた風速（Vo（m/sec）） ・ 3 0 ・ 3 2

・地表面粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV

・多雪地域の指定 積雪区分 建造物第1455号 別表（ ）

5 監理技術者の要件

※次に掲げる基準を全て満たす監理技術者を専任で配置できること。

1 建築工事の施工に関し、1 0 年以上の実務経験を有すること。

2 一級建築士又は一級建築施工管理技士の資格取得後 4 年以上の実務経験を有すること。

6 電気保安技術者

・要（ ） ・不要

[1.3.3]

⑦ 発生材の処理等

1 0 追加特記 8 「発生材の処理等」による。

[1.3.8]

⑧ 特別な材料の工法

改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。

9 施工数量調査の方法

目視及び打診（必要に応じて破壊）による調査を行う。調査範囲及び調査内容は各章による。

[1.5.2]

10 技能士

適用工事種別	技 能 検 定 の 職 種
防水改修工事	・7スファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・左官 ・建築板金(内外装板金作業)
外壁改修工事	・左官 ・タイル張り ・塗装(建築塗装作業) ・樹脂接着剤注入施工
建具改修工事	・サッシ施工 ・ガラス施工
内装改修工事	・建築大工 ・左官 ・表装(壁装作業) ・内装仕上げ施工（・プラスチック系仕上げ ・ボード仕上げ ・鋼製下地工事） ・タイル張り
塗装改修工事	・塗装(建築塗装作業)
耐震改修工事	・とび ・型枠施工 ・鉄筋施工
環境配慮改修工事	・防水施工（7スファルト防水工事作業） ・ガラス施工 ・造園
ブロッカ、ALCパネル工事	・ブロック建築 ・ALCパネル施工
石工事	・石材施工(石張り施工)
	・

11 見本施工

※実施しない ・実施する（ ）

[1.6.5]

12 化学物質の濃度測定

1 0 追加特記 9 「化学物質の濃度測定」による。

[1.6.9]

⑬ 完成図等

※下記のものを作成し提出する。なお、作成方法等は、監督員の指示による。

・案内図及び配置図 ・平面図 ・立面図 ・断面図

・仕上表 ○建物の保全に関する説明書(取扱説明書を含む。)

[1.8.1～1.8.3]

※原図 ※隣画複写図 1 部 ○CADデータ

⑭ 施工図等の取扱

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用权は、発注者に委譲するものとする。

⑮ 工事完成写真

※同一箇所の改修前と改修後が比較出来るように整理のうえ監督員に提出する。

※提出部数 1 部

⑯ 工事施工状況写真

※工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領(平成24年版)・同解説 工事写真の撮り方 建築編」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。

※提出部数 1 部

⑰ 設備工事との取合い

1 0 追加特記 4 「工事区分表」による。

① 監督員事務所等

・監督員事務所 ・10 ・20 ・35 ・65 ・ m程度を設ける。 [2.4.1]

・仮設事務所の中に監督員用空間を m程度確保する。

② 監督員が使用できる備品等

監督員が使用できる備品として、下記のことを工事期間中現場に用意し、貸与する。

○保護帽 3 ケ ・雨具 着 ・長靴 足 ○安全带 3 組

③ 工 事 用 水

構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる（※有償 ・無償）

④ 工 事 用 電 力

構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる（※有償 ・無償）

⑤ 仮 設 建 物 等

現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。

6 外 部 足 場

外部足場は枠組足場とする。

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

⑦ 内部仕上足場

・架台足場 ○枠組棚足場 ・ [2.2.1]

⑧養生

既存部分の養生 ※ビニールシート等 ○ コンパネ 厚12 [2.3.1]

既存家具等の養生 ※ビニールシート等 ・ [2.3.1]

備品等の移動 [2.3.1]

※監督員の指示による施設内移動とする。(対象備品の移動先は、図示による) ・行わない

⑨仮設間仕切り

仮設間仕切り等の種別 [2.3.2][表2.3.1]

種 別	下 地	仕上げ材(厚さmm)	充填材(mm)	塗 装
・A種	※軽量鉄骨	※セッコウボード(※9.5 ・)	厚さ()	※無し
※B種	・木造	・合板(※9 ・)		・片面
○C種	・単管	・防火シート		
仮設扉	※木製扉	合板張り程度	・行う	※無し
・			厚さ()	・片面

1 施工数量調査

[1.5.2]

下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。

調査範囲

屋根、庇等の防水改修工事の対象となる既存コンクリート面、モルタル面等

調査内容

ひび割れの幅及び長さを屋根面等に図示する。

浮き部分、欠損部を屋根面等に表示する。また、脆弱部を調査する。

部分的な水はけ不良部や勾配不良の箇所を屋根面等に表示する。

2 防水の保証等

※防水工事は、新潟県防水工事業協同組合員の施工とし、請負者は新潟県防水工事業協同組合と連名の保証書を提出する。ただし、県が認めた場合は、組合員外の施工とすることができる。この場合は、請負者と施工者との連名の保証書とする。

工 法 種 別	施 工 箇 所	保 証 期 間
・ 工 法		1 0 年間
・ 工 法		1 0 年間
・ 工 法		1 0 年間

3 アスファルト防水

[3.1.4][表3.1.1][3.3.3][表3.3.3～表3.3.10]

防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水工法の種別
保 ・ P 1 B		・ B-1 ※B-2
護 ・ P 1 B I ・ T 1 B I		・ B I-1 ※B I-2
防 ・ P 2 A I		・ A I-1 ※A I-2
水 ・ P 2 A		・ A-1 ※A-2
・ M 4 C		・ C-1 ※C-2
露 ・ P O D ・ M 3 D		・ D-1 ※D-2
出 ・ P O D ・ M 3 D I		・ D I-1 ※D I-2
防 ・ M 4 D I		仕上げ塗料塗り ※有り（・シムバー ・カー） 使用量は製造所標準仕様
屋 内 防 水	・ P 1 E ・ P 2 E	・ E-1 ※E-2

アスファルトの種類 ※3種 ・ [3.2.2][3.3.2]

・二重ドレンの設置（・POD工法 ・PODI工法） [3.2.5]

・既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去（M4C工法、M4DI工法） [3.2.6]

・粘着層付改質7スファルトフーリング 厚さ(mm) ※1.5以上 ・ [3.3.2]

・改質7スファルトフーリング 厚さ(mm) ※3.0以上 ・ [3.3.2]

・断熱材（屋根保護又は露出防水断熱工法） [3.3.2]

厚さ(mm) ※25 ・

材質 屋根保護工法 ※A種押出法6スリレンフォーム3種b5層付き

材質 露出防水断熱工法 ※A種硬質ウレタンフォーム2種1号または2号

乾式保護材の材料 [3.3.2]

種 類	寸法(mm)：厚さ×幅	摘 要
・押出成型セメント板 ※I 類	※15 ×	・無石棉に限る
・窯業系パネル ※II 種	・ ×	
・金属複合板	※12 ×	

3 防水改修工事

4 改質7スファルトシート防水

5 合成高分子系ルーフィングシート防水

6 塗膜防水

7 脱気装置

8 シーリング

[3.1.4][表3.1.1][3.4.2][表3.4.1～表3.4.3]

防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別	シートの厚さ(mm)
密着工法	・M4AS	・AS-T1	下層用 ※2.5以上 ・ 上層用 ※3.0以上 ・
		・AS-T2	※4.0以上 ・
		・AS-J3	※3.0以上 ・
絶縁工法	・M3AS ・POAS	・AS-T3	下層用 ※1.5以上 ・ 上層用 ※3.0以上 ・
		・AS-T4	※4.0以上 ・
		・AS-J2	※1.5以上 ・ ※2.0以上 ・
		・AS-J4	※3.0以上 ・
断熱工法	・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1	下層用 ※1.5以上 ・ 上層用 ※3.0以上 ・
		・ASI-J1	下層用 ※1.5以上 ・ 上層用 ※2.0以上 ・

・二重ドレンの設置（POAS工法及びPOASI工法の場合） [3.2.5]

・既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去（M4AS工法及びM4ASI工法） [3.2.6]

・断熱工法の断熱材の厚さ(mm) ・ 材質 ・ [3.4.2]

・下地に部分的に密着又は接着を行う工法 ※製造所の標準仕様 ・ [3.4.4]

[3.1.4][表3.1.1][3.5.2][3.5.3][表3.5.1]

防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別	備 考
		(厚さ(mm))	脱気装置 二重ドレン
・POX工法		・S-F1(※1.2 ・)	POS工法 POS工法
・L4X		・S-F2(※2.0 ・)	・設ける ・設ける
		・S-M1(※1.5 ・)	
		・S-M2(※1.5 ・)	
		・S-M3(※1.2 ・)	
・S3S工法		・S-F1(※1.2 ・)	・設ける
		・S-M2(※1.5 ・)	
・M4S工法		・S-M1(※1.5 ・)	
		・S-M2(※1.5 ・)	
		・S-M3(※1.2 ・)	
断熱工法	・POSI ・S4SI	・SI-F1(※1.2 ・)	POS工法 POS工法
		・SI-F2(※2.0 ・)	・設ける ・設ける
		・SI-M1(※1.5 ・)	
		・SI-M2(※1.5 ・)	
		・SI-M3(※1.2 ・)	
・S3SI		・SI-F1(※1.2 ・)	・設ける
		・SI-F2(※2.0 ・)	
・M4SI		・SI-M1(※1.5 ・)	
		・SI-M2(※1.5 ・)	
		・SI-M3(※1.2 ・)	

仕上げ塗料塗り（S-F1、SI-F1、S-M1、SI-M1の場合） ・シムバー ・カー

新規防水層の使用分類 ※非歩行 ・軽歩行

断熱工法の断熱材（原則としてオゾン層破壊物質を含まないものとする。） [3.5.3]

・架構形発砲ポリウレタンフォーム 厚さ() mm

・押出法6スリレンフォーム3種b 厚さ() mm

POコンクリート部材下地 [3.5.4]

目地処理（接着工法） ※図示

入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合） ・行う（幅 mm程度）

[3.1.4][表3.1.1][3.6.3][表3.6.1][表3.6.2]

防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別	仕上げ塗料塗り
・POX		※X-1 ・X-2	・シムバー
・L4X		・X-1 ※X-2	・カー
・P1Y		※Y-2	
・P2Y		※Y-2	

・二重ドレンの設置（POX工法の場合） [3.2.5]

・既存塗膜防水層表面仕上げ塗装の除去（L4X工法の場合） [3.2.6]

・保護層 ・設ける（P1Y、P2Y工法の場合） [3.6.3]

[3.3.3][表3.3.8][表3.3.9][3.4.3][表3.4.2][表3.4.3][3.5.3][3.6.3]

種 類	材 料
・平面部脱気型	※製造所標準仕様（立上り型） ・スリレンス製 ・ポリ製又は7スリレン物
・立上り部脱気型	※製造所標準仕様

※設置数量は製造所指定数量による。

[3.1.4][表3.1.2][3.7.4～3.7.7]

改修工法の種類	施 工 箇 所
・シーリング充填工法	
・シーリング再充填工法	
・拡幅シーリング再充填工法	
・ブリッジ工法	
・ボンドブレーカ張り及びブリッジ材張り（ブリッジ工法の場合）	[3.7.7]

シーリング材の種類及び施工箇所 [3.7.2][表3.7.1]

※下表以外は、改修標仕表3.7.1を標準とする

施 工 箇 所	シーリング材の種類（記号）

接着性試験 [3.7.8]

※簡易接着性試験 ・引張接着性試験（対象施工部位 ）

ただし試験成績書を監督員に提出し、承諾を得た場合は試験を省略できる

三 条 市

株式会社 小林設計事務所

〒951-8556 新潟県三条市南新保15番7号 TEL 0256（32）6237（代）

新潟県建築士事務所 国・小林設計事務所 知事登録番号（丸）第536号 一般建築士（大臣）登録番号 第18261号 藤 澤 一 博

TITLE 下田中学校天井等落下防止改修工事

SUBJECT 建築仕様書（その1）

SCALE 1/100

DATE 平成27年6月

CHECKED 橋 外 No. A-1

DESIGNED 橋 外 No. A-1

3

防水改修工事

8

シーリング

撤去既存シーリングの処理

事前調査等・行う（下記の詳細で分析する）・行わない
現場においてサンプルを採集し、専門分析機関で分析を行う。
採取箇所※外壁目地・建具周囲目地・図示
採取箇所数・部材が異なる毎に1箇所・図示

分析によりPCBの含有が確認された場合は、下記により施工調査等を行い、適切に処理を行う

調査範囲※今回改修工事範囲全て・図示

調査内容シーリング使用部位及び長さの確認
シーリング範囲と工事整理区分の確認
仮設計画
廃棄物等の搬出方法

9

とい

材種[3.8.2][表3.8.1]
※配管用鋼管・硬質塩化ビニル管・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡スラッシュ管
鋼管製との防露[3.8.3][表3.8.4]
※改修標準表3.8.4による
たてどい受け金物の取付け※図示・構仕13.5.3(d)(2)による[3.8.3](13.5.3)

10

7mmミニム製笠木

オープン形式7mmミニム製笠木の種類[3.9.2][3.9.3][表3.9.1]

種類	板厚(mm)	表面処理及び色合い	固定間隔	下地補修
・100形	1.5以上	・A-1又はB-1種(無着色)	建築基準法に	※行う(図示)
・250形	1.6以上	・B-2種	基づく指定する	・行わない
・300形	1.8以上	・ブラウン系	条件により	
・350形	2.0以上	・ブラック	定める	
		・ステンカラー		

板材折曲げ形7mmミニム製笠木の取付工法

笠木の固定金具は改修標準3.9.3(b)(1)とし、それ以外の取付方法は図示による。

4-1

施工数量調査

下記の劣化状況調査の結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。
調査範囲
仕上塗材仕上げの下地となる外壁、庇等の躯体コンクリート面、既存モルタル、タイル等の面
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面等に図示する。
ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの剥離・剥落など欠陥部分を調査する。
コンクリートの表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。
仕上塗材等の劣化部分、剥落部等を壁面に表示する。
新規仕上塗材の美観に影響を与えるおそれのある段差部等を壁面に表示する。
※外壁改修工事(劣化状況調査、劣化部補修及び下地処理、シーリング、仕上塗材仕上)は、新潟県外壁補修工事業協同組合員(以下、「組合員」という。)の施工とする。
ただし、やむを得ない場合は、劣化部補修を組合員以外の施工とすることができる。その場合は、組合員の施工指示による。
※外壁改修工事について、受注者は新潟県外壁補修工事業協同組合と連名の保証書を提出する。 ※コンクリート枠造の外壁は保証対象範囲外

種類	保証範囲	保証期間
防水型複層塗材E (JIS-A6909)	外壁下地・塗装面	10年
外装薄塗材E (JIS-A6909)	外壁下地のみ	10年

4-2

1

ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法[4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧式樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130
樹脂注入工法			
・手動式式樹脂注入工法	0.2以上～0.3以下	※50～100	※40
樹脂注入工法	0.3超え～0.5以下	※100～200	※70
・機械式式樹脂注入工法	0.5超え～1.0以下	※150～250	※130
樹脂注入工法			

注入材料[4.2.2]
※建築補修用注入式樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形)

検査(コア抜き)※行わない[4.3.4]
・行う
抜き取り部の補修方法
※充填工法(・式樹脂モルタル・ポリマーセメントモルタル)[4.3.7]

・ウレタン材充填工法[4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	種別	備考
・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない・行う
・可とう性式樹脂		

・シール工法[4.1.4][4.2.2][4.3.6]
シール材料
・パテ状式樹脂
・可とう性式樹脂
※改修標準4.3.6(b)(3)を「プライマーを塗布したのち、シール材をパテへら等でクラックに押し込み、周囲と平滑に仕上げる。」と読み替える。

4-3

モルタル塗り仕上げ外壁改修工事

1 既存モルタル塗りの撤去

・行う(※全面・図示の範囲)

2 ひび割れ部改修工法

・既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は3.欠損部改修工法による)
・樹脂注入工法[4.1.4][4.3.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧式樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130
樹脂注入工法			
・手動式式樹脂注入工法	0.2以上～0.3以下	※50～100	※40
樹脂注入工法	0.3超え～0.5以下	※100～200	※70
・機械式式樹脂注入工法	0.5超え～1.0以下	※150～250	※130
樹脂注入工法			

注入材料[4.2.2]
※建築補修用注入式樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形)

検査(コア抜き)※行わない[4.3.4][4.4.5]
・行う
抜き取り部の補修方法
※充填工法(・式樹脂モルタル・ポリマーセメントモルタル)[4.3.7]

・ウレタン材充填工法[4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	種別	備考
・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない・行う
・可とう性式樹脂		

・シール工法[4.1.4][4.2.2][4.3.6]
シール材料
・パテ状式樹脂
・可とう性式樹脂
※改修標準4.3.6(b)(3)を「プライマーを塗布したのち、シール材をパテへら等でクラックに押し込み、周囲と平滑に仕上げる。」と読み替える。

4-4

タイル張り仕上げ外壁改修工事

1 既存タイル張りの撤去

・外壁タイル張り全面・図示の範囲
撤去範囲※下地モルタルまで・張付けモルタルまで

2 ひび割れ部改修工法

改修箇所※既存タイル張り面
・既存タイル撤去面(・コンクリート面・モルタル面)
・樹脂注入工法[4.1.4][4.3.4][4.5.2][4.5.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧式樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130
樹脂注入工法			
・手動式式樹脂注入工法	0.2以上～0.3以下	※50～100	※40
樹脂注入工法	0.3超え～0.5以下	※100～200	※70
・機械式式樹脂注入工法	0.5超え～1.0以下	※150～250	※130
樹脂注入工法			

注入材料[4.2.2]
※建築補修用注入式樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形)

検査(コア抜き)※行わない[4.3.4][4.5.5]
・行う
抜き取り部の補修方法
※充填工法(・式樹脂モルタル・ポリマーセメントモルタル)[4.3.7]

・ウレタン材充填工法[4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	種別	備考
・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない・行う
・可とう性式樹脂		

・タイル張替え工法[4.1.4][4.5.7]
接着材の種類[4.2.2]
※ポリマーセメントモルタル
・タイル張替え用式樹脂
・ウレタン樹脂及びシリコン樹脂

・タイル張替え工法[4.1.4][4.5.8]
伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地位置※改修標準表4.5.1による・図示

4-5

浮き部改修工法

タイルの種類[4.2.2][4.5.7][4.5.8]

施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐薬害性	うわぐすり	役物	色	備考
		ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	
		・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・

備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。
役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、扉風)の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き※行わない・行う

壁タイル張りの工法[4.5.8][表4.5.3]
外装タイル・密着張り・ヌメ張り
タイルの試験張り※行わない・行う

・目地ひび割れ部改修工法[4.1.4][4.5.16]
・伸縮目地改修工法[4.1.4][4.5.16]

5

陶磁器質タイル張り

タイルの種類[4.2.2][4.5.7][4.5.8]

施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐薬害性	うわぐすり	役物	色	備考
		ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	
		・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・

備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。
役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、扉風)の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き※行わない・行う

壁タイル張りの工法[4.5.8][表4.5.3]
外装タイル・密着張り・ヌメ張り
タイルの試験張り※行わない・行う

・目地ひび割れ部改修工法[4.1.4][4.5.16]
・伸縮目地改修工法[4.1.4][4.5.16]

6

目地改修工法

目地ひび割れ部改修工法[4.1.4][4.5.16]
伸縮目地改修工法[4.1.4][4.5.16]

7

鋼製軽量建具(標準型鋼製建具を含む)

簡易気密型鋼製建具の性能値の適用は建具表による[5.5.2][5.5.6]

8

鋼製軽量建具(標準型鋼製建具を含む)

簡易気密型鋼製建具の性能値の適用は建具表による[5.5.2][5.5.6]

9

ステン製建具

簡易気密型ステン製建具の性能値の適用は建具表による[5.4.2][5.6.2][表5.4.1]
外部に面する建具の耐風圧性[5.4.2][5.6.2][表5.2.1]
・S-4・S-5・S-6

10

木製建具

かまち戸の樹種かまち()鏡板() (16.7.2)
ふすまの上張り※新鳥の子又はビニル紙程度・鳥の子 (表16.7.3)
ふすまの縁の仕上げ・塗り縁・生地縁 (表16.7.9)

11

建具用金具

メーカー※製作する(本)・製作しない
鍵札数量・錠前1組に2枚とする・錠前1組に1枚とする
かぎ箱市販品形式・30組用・60組用・120組用

12

自動ドア開閉装置

自動ドアの開閉機構[5.8.3][表5.8.3]

開閉方法	センサーの種類
※マイクログレード	・マイクロスイッチ・電子マイクロスイッチ・タッチスイッチ※光線スイッチ
・スイングドア	・音波スイッチ・ペダルのスイッチ・熱線スイッチ・光電スイッチ
	・押しボタンスイッチ・多機能便所スイッチ

凍結防止措置※行わない・行う() [5.8.3]

13

自閉式上吊り引戸装置

※適用する(適用建具及び適用位置は図示による) [5.9.1]

14

重量シャッター

外部に面するシャッターの耐風圧強度() N/m² [5.10.2]
開閉機能※上部電動式(手動併用)・上部手動式 [5.10.2][表5.10.1]
一般重量シャッターのシャッターケース※設ける・設けない [5.10.2]

15

軽量シャッター

開閉形式※手動式・上部手動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1]
外部に面するシャッターの耐風圧強度() N/m² [5.11.2]
スラット厚さ(mm)・0.5・0.6・0.8・1.0 [表5.11.2]
材質※塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯 [5.11.3]
形状※(タテローリング)形・(オハローリング)形 [5.11.4]
ガイドレール※鋼板製・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm) [表5.11.2]
シャッターケース厚さ(mm)・0.4・0.8 [表5.11.2]

16

オーバヘッドドア

セクション材料開閉方式収納形式ガイドレール
※スチールタイプ※バランスタイプ・溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ・チェーン式・ローヘッド形※ステンレス鋼板(SUS304)
・ファイバーグラスタイプ・電動式・ハイルリット形・バーチャル形
耐風圧性能による区分・50・75・100・125 [5.12.2][5.12.3][表5.12.1]

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ	※バランスタイプ	※スタンダード形	・溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板(SUS304)
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイルリット形	
		・バーチャル形	

耐風圧性能による区分・50・75・100・125 [5.12.2]

17

ガラス

下記以外は、建具表による [5.13.2]
・合わせガラス
特性による種類※Ⅱ-1類
・強化ガラス
材料板ガラスによる種類特性による種類
・フロート強化ガラスⅢ類(曲面はⅠ類)
・型板ガラス
・熱線吸収板ガラス
材料板ガラスによる種類色調
・熱線吸収フロート板ガラス・ブルー・グレー・ブロンズ・グリーン
・熱線吸収網入り磨き板ガラス
・複層ガラス
品質断熱性、日射遮蔽性による区分
・断熱複層ガラス※U3-1・U3-2
・日射熱遮蔽複層ガラス・E4・E5

18

タイル張り仕上げ外壁改修工事

1 既存タイル張りの撤去

・外壁タイル張り全面・図示の範囲
撤去範囲※下地モルタルまで・張付けモルタルまで

2 ひび割れ部改修工法

改修箇所※既存タイル張り面
・既存タイル撤去面(・コンクリート面・モルタル面)
・樹脂注入工法[4.1.4][4.3.4][4.5.2][4.5.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧式樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130
樹脂注入工法			
・手動式式樹脂注入工法	0.2以上～0.3以下	※50～100	※40
樹脂注入工法	0.3超え～0.5以下	※100～200	※70
・機械式式樹脂注入工法	0.5超え～1.0以下	※150～250	※130
樹脂注入工法			

注入材料[4.2.2]
※建築補修用注入式樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形)

検査(コア抜き)※行わない[4.3.4][4.5.5]
・行う
抜き取り部の補修方法
※充填工法(・式樹脂モルタル・ポリマーセメントモルタル)[4.3.7]

・ウレタン材充填工法[4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	種別	備考
・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない・行う
・可とう性式樹脂		

・シール工法[4.1.4][4.2.2][4.3.6]
シール材料
・パテ状式樹脂
・可とう性式樹脂
※改修標準4.3.6(b)(3)を「プライマーを塗布したのち、シール材をパテへら等でクラックに押し込み、周囲と平滑に仕上げる。」と読み替える。

19

欠損部改修工法

※充填工法[4.1.4][4.2.2][4.3.7]
充填材料
・式樹脂モルタル
※ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの塗り厚が20mmを超える場合、または現状成形が不可能な場合は監督員と協議すること。

20

タイル張り仕上げ外壁改修工事

1 既存タイル張りの撤去

・外壁タイル張り全面・図示の範囲
撤去範囲※下地モルタルまで・張付けモルタルまで

2 ひび割れ部改修工法

改修箇所※既存タイル張り面
・既存タイル撤去面(・コンクリート面・モルタル面)
・樹脂注入工法[4.1.4][4.3.4][4.5.2][4.5.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧式樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130
樹脂注入工法			
・手動式式樹脂注入工法	0.2以上～0.3以下	※50～100	※40
樹脂注入工法	0.3超え～0.5以下	※100～200	※70
・機械式式樹脂注入工法	0.5超え～1.0以下	※150～250	※130
樹脂注入工法			

注入材料[4.2.2]
※建築補修用注入式樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形)

検査(コア抜き)※行わない[4.3.4][4.5.5]
・行う
抜き取り部の補修方法
※充填工法(・式樹脂モルタル・ポリマーセメントモルタル)[4.3.7]

・ウレタン材充填工法[4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	種別	備考
・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない・行う
・可とう性式樹脂		

・タイル張替え工法[4.1.4][4.5.7]
接着材の種類[4.2.2]
※ポリマーセメントモルタル
・タイル張替え用式樹脂
・ウレタン樹脂及びシリコン樹脂

・タイル張替え工法[4.1.4][4.5.8]
伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地位置※改修標準表4.5.1による・図示

21

浮き部改修工法

タイルの種類[4.2.2][4.5.7][4.5.8]

施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐薬害性	うわぐすり	役物	色	備考
		ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	
		・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・

備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。
役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、扉風)の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き※行わない・行う

壁タイル張りの工法[4.5.8][表4.5.3]
外装タイル・密着張り・ヌメ張り
タイルの試験張り※行わない・行う

・目地ひび割れ部改修工法[4.1.4][4.5.16]
・伸縮目地改修工法[4.1.4][4.5.16]

22

陶磁器質タイル張り

タイルの種類[4.2.2][4.5.7][4.5.8]

施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐薬害性	うわぐすり	役物	色	備考
		ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	
		・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・

備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。
役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、扉風)の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き※行わない・行う

壁タイル張りの工法[4.5.8][表4.5.3]
外装タイル・密着張り・ヌメ張り
タイルの試験張り※行わない・行う

・目地ひび割れ部改修工法[4.1.4][4.5.16]
・伸縮目地改修工法[4.1.4][4.5.16]

23

目地改修工法

目地ひび割れ部改修工法[4.1.4][4.5.16]
伸縮目地改修工法[4.1.4][4.5.16]

24

鋼製軽量建具(標準型鋼製建具を含む)

簡易気密型鋼製建具の性能値の適用は建具表による[5.5.2][5.5.6]

25

鋼製軽量建具(標準型鋼製建具を含む)

簡易気密型鋼製建具の性能値の適用は建具表による[5.5.2][5.5.6]

26

ステン製建具

簡易気密型ステン製建具の性能値の適用は建具表による[5.4.2][5.6.2][表5.4.1]
外部に面する建具の耐風圧性[5.4.2][5.6.2][表5.2.1]
・S-4・S-5・S-6

27

木製建具

かまち戸の樹種かまち()鏡板() (16.7.2)
ふすまの上張り※新鳥の子又はビニル紙程度・鳥の子 (表16.7.3)
ふすまの縁の仕上げ・塗り縁・生地縁 (表16.7.9)

28

建具用金具

メーカー※製作する(本)・製作しない
鍵札数量・錠前1組に2枚とする・錠前1組に1枚とする
かぎ箱市販品形式・30組用・60組用・120組用

29

自動ドア開閉装置

自動ドアの開閉機構[5.8.3][表5.8.3]

開閉方法	センサーの種類
※マイクログレード	・マイクロスイッチ・電子マイクロスイッチ・タッチスイッチ※光線スイッチ
・スイングドア	・音波スイッチ・ペダルのスイッチ・熱線スイッチ・光電スイッチ
	・押しボタンスイッチ・多機能便所スイッチ

凍結防止措置※行わない・行う() [5.8.3]

30

自閉式上吊り引戸装置

※適用する(適用建具及び適用位置は図示による) [5.9.1]

31

重量シャッター

外部に面するシャッターの耐風圧強度() N/m² [5.10.2]
開閉機能※上部電動式(手動併用)・上部手動式 [5.10.2][表5.10.1]
一般重量シャッターのシャッターケース※設ける・設けない [5.10.2]

32

軽量シャッター

開閉形式※手動式・上部手動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1]
外部に面するシャッターの耐風圧強度() N/m² [5.11.2]
スラット厚さ(mm)・0.5・0.6・0.8・1.0 [表5.11.2]
材質※塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯 [5.11.3]
形状※(タテローリング)形・(オハローリング)形 [5.11.4]
ガイドレール※鋼板製・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm) [表5.11.2]
シャッターケース厚さ(mm)・0.4・0.8 [表5.11.2]

33

オーバヘッドドア

セクション材料開閉方式収納形式ガイドレール
※スチールタイプ※バランスタイプ・溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ・チェーン式・ローヘッド形※ステンレス鋼板(SUS304)
・ファイバーグラスタイプ・電動式・ハイルリット形・バーチャル形
耐風圧性能による区分・50・75・100・125 [5.12.2][5.12.3][表5.12.1]

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ	※バランスタイプ	※スタンダード形	・溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板(SUS304)
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイルリット形	
		・バーチャル形	

耐風圧性能による区分・50・75・100・125 [5.12.2]

34

ガラス

下記以外は、建具表による [5.13.2]
・合わせガラス
特性による種類※Ⅱ-1類
・強化ガラス
材料板ガラスによる種類特性による種類
・フロート強化ガラスⅢ類(曲面はⅠ類)
・型板ガラス
・熱線吸収板ガラス
材料板ガラスによる種類色調
・熱線吸収フロート板ガラス・ブルー・グレー・ブロンズ・グリーン
・熱線吸収網入り磨き板ガラス
・複層ガラス
品質断熱性、日射遮蔽性による区分
・断熱複層ガラス※U3-1・U3-2
・日射熱遮蔽複層ガラス・E4・E5

三 条 市

株式会社 小林設計事務所

新潟県三条市南新保15番7号 TEL 0256 (32) 6237 (代)

TITLE
下田中学校天井等落下防止改修工事

SCALE
—

CHECKED
(印)

DESIGNED
(印)

SUBJECT
建築仕様書 (そのⅡ)

DATE
平成27年6月

電 話
A-2

一級建築士事務所 小林設計事務所 知事登録番号 (ホ) 第536号

一級建築士 (大佐) 登録番号 第17261号 藤 澤 一 雅

5	建具 改修 工事	17 ガラス	・熱線反射ガラスガラス 品 質 反射皮膜面 材料板ガラスの種類 映像調整 ※熱線反射ガラス ※フロート板ガラス ・高性能熱線反射ガラス ・内面 ・熱線吸収フロート板ガラス ・強化ガラス ・倍強度ガラス ・倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色 調 ※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・	6 既存壁の撤去並びに下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※図示 ・[4. 4. 9]モルタル塗替え工法 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製フッ酸ビンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る。 ・図示	6. 3. 2][4. 4. 9]	6 16 カーペット敷き	・タフテッドカーベット パイル形状 パイル長(mm) 工 法 帯 電 性 ・カットパイル ※5. 0～7. 0 ・ ※全面接着工法 ・グリップ工法 人体帯電圧 ※3Kv以下 ・ ・カットループ併用 ・	6. 9. 3][6. 9. 4][表6. 9. 2]	6 内装改修工事	25 フッ酸ビンを貼る	施工箇所 構 法 仕上り高 (mm) 適用地震時 水平力 耐荷重性能 注(1) 表面仕上げ材 注(2) ・パイル構法 ・溝構法 ※50未満 ・1. 0G ・0. 6G ・3. 000N ・5. 000N ・帯電防止床タイプ ・タイプカーベット ・溝構法 ※50未満 ・0. 6G ・5. 000N ・タイプカーベット 注1：耐荷重性能5, 000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型フッ酸ビンの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。 注2：表面仕上げ材の品質・規格等は、13帯電防止床タイプ張り、16カーベット敷きによる。	20. 2. 1]
		18 ガラス留め材	・倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色 調 ※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・	6 木下地等	代用樹種 改修標準表6. 5. 4]によるほか、樹種のうちすぎは「越後杉ブランド」を使用する。 ・代用樹種を適用しない箇所（	6. 5. 2][表6. 5. 4]	17 合成樹脂塗床	・タイルカーベット 種 別 パイル形状 電気抵抗値(Ω) 施 工 箇 所 ※第一種 ※ループパイル ・カットパイル ・10 ⁹ Ω以下	6. 9. 3]	26 可動間仕切り	施工箇所 構 法 仕上り高 (mm) 適用地震時 水平力 耐荷重性能 注(1) 表面仕上げ材 注(2) ・パイル構法 ・溝構法 ※50未満 ・1. 0G ・0. 6G ・3. 000N ・5. 000N ・帯電防止床タイプ ・タイプカーベット 注1：耐荷重性能5, 000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型フッ酸ビンの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。 注2：表面仕上げ材の品質・規格等は、13帯電防止床タイプ張り、16カーベット敷きによる。	20. 2. 2]	
19	ガラス ロック積み	19 ガラスロック積み	ガラスロック 寸 法(mm) 表面形状 性 能 等 呼び寸法 厚さ 色 調 パターン 防火性能 耐火性能 ※クリア ・ 壁用金属枠及び補強材 壁用金属枠の種類 規格及び補強材等 ※アルミニウム製 ・標準16. 2. 3の7mm鋼製建具の材料による ・ 化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・シーリング材料 下表以外は改修標準3. 7. 1]による [5. 13. 5][表3. 7. 1]	7 集材材	大工工事に使用する接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性とする。 [6. 5. 3]	6. 5. 2]	18 フローリング張り	・フローリングカーベット 種 別 パイル形状 電気抵抗値(Ω) 施 工 箇 所 ※第一種 ※ループパイル ・カットパイル ・10 ⁹ Ω以下	6. 9. 3]	27 移動間仕切り	施工箇所 構 法 仕上り高 (mm) 適用地震時 水平力 耐荷重性能 注(1) 表面仕上げ材 注(2) ・パイル構法 ・溝構法 ※50未満 ・1. 0G ・0. 6G ・3. 000N ・5. 000N ・帯電防止床タイプ ・タイプカーベット 注1：耐荷重性能5, 000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型フッ酸ビンの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。 注2：表面仕上げ材の品質・規格等は、13帯電防止床タイプ張り、16カーベット敷きによる。	20. 2. 3]	
		20 ガラス用フィルム	ガラス用フィルム 寸 法(mm) 表面形状 性 能 等 呼び寸法 厚さ 色 調 パターン 防火性能 耐火性能 ※クリア ・ 壁用金属枠及び補強材 壁用金属枠の種類 規格及び補強材等 ※アルミニウム製 ・標準16. 2. 3の7mm鋼製建具の材料による ・ 化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・シーリング材料 下表以外は改修標準3. 7. 1]による [5. 13. 5][表3. 7. 1]	8 接着剤	大工工事に使用する接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性とする。 [6. 5. 3]	6. 5. 2]	19 畳敷き	・フローリングカーベット 種 別 パイル形状 電気抵抗値(Ω) 施 工 箇 所 ※第一種 ※ループパイル ・カットパイル ・10 ⁹ Ω以下	6. 9. 3]	28 トイレブース	施工箇所 構 法 仕上り高 (mm) 適用地震時 水平力 耐荷重性能 注(1) 表面仕上げ材 注(2) ・パイル構法 ・溝構法 ※50未満 ・1. 0G ・0. 6G ・3. 000N ・5. 000N ・帯電防止床タイプ ・タイプカーベット 注1：耐荷重性能5, 000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型フッ酸ビンの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。 注2：表面仕上げ材の品質・規格等は、13帯電防止床タイプ張り、16カーベット敷きによる。	20. 2. 4]	
6	内装改修工事	① 基本要品	基本要品 品 質 JIS A 5759による	9 防腐・防蟻処理	防腐処理 ※行う(適用範囲 改修標準6. 5. 5(a)による ・図示) 防蟻処理 ・行う(適用範囲 防腐・防蟻剤は、クロルピリホスを含まない非有機リン系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督員に提出し承諾を受ける。 防腐・防蟻処理の方法 工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。 ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。	6. 5. 5][表6. 5. 4]	20 セッコウボード その他のボード張り	・セッコウボード 種 別 パイル形状 電気抵抗値(Ω) 施 工 箇 所 ※第一種 ※ループパイル ・カットパイル ・10 ⁹ Ω以下	6. 9. 3]	29 階段滑止め	施工箇所 構 法 仕上り高 (mm) 適用地震時 水平力 耐荷重性能 注(1) 表面仕上げ材 注(2) ・パイル構法 ・溝構法 ※50未満 ・1. 0G ・0. 6G ・3. 000N ・5. 000N ・帯電防止床タイプ ・タイプカーベット 注1：耐荷重性能5, 000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型フッ酸ビンの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。 注2：表面仕上げ材の品質・規格等は、13帯電防止床タイプ張り、16カーベット敷きによる。	20. 2. 5]	
		② 改修範囲	改修範囲 品 質 JIS A 5759による	10 軽量鉄骨天井下地	屋外の場合の形式及び寸法 [6. 6. 3][表6. 6. 2] ※下表以外は、改修標準6. 6. 3及び表6. 6. 2]による 下地材の間隔 (mm) 野縁受、吊り金具、インサート 野 縁 中央部 周辺部	6. 6. 3][表6. 6. 2]	21 吸音材	・セッコウボード 種 別 パイル形状 電気抵抗値(Ω) 施 工 箇 所 ※第一種 ※ループパイル ・カットパイル ・10 ⁹ Ω以下	6. 9. 3]	30 階段手すり	施工箇所 構 法 仕上り高 (mm) 適用地震時 水平力 耐荷重性能 注(1) 表面仕上げ材 注(2) ・パイル構法 ・溝構法 ※50未満 ・1. 0G ・0. 6G ・3. 000N ・5. 000N ・帯電防止床タイプ ・タイプカーベット 注1：耐荷重性能5, 000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型フッ酸ビンの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。 注2：表面仕上げ材の品質・規格等は、13帯電防止床タイプ張り、16カーベット敷きによる。	20. 2. 6]	
7	内装改修工事	3 施工数量調査	施工数量調査 品 質 JIS A 5759による	11 ビニル床シート張り	ビニル床シート 種 別 パイル形状 電気抵抗値(Ω) 施 工 箇 所 ※第一種 ※ループパイル ・カットパイル ・10 ⁹ Ω以下	6. 6. 4]	22 壁紙張り	・セッコウボード 種 別 パイル形状 電気抵抗値(Ω) 施 工 箇 所 ※第一種 ※ループパイル ・カットパイル ・10 ⁹ Ω以下	6. 9. 3]	31 黒板及びホワイトボード	施工箇所 構 法 仕上り高 (mm) 適用地震時 水平力 耐荷重性能 注(1) 表面仕上げ材 注(2) ・パイル構法 ・溝構法 ※50未満 ・1. 0G ・0. 6G ・3. 000N ・5. 000N ・帯電防止床タイプ ・タイプカーベット 注1：耐荷重性能5, 000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型フッ酸ビンの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。 注2：表面仕上げ材の品質・規格等は、13帯電防止床タイプ張り、16カーベット敷きによる。	20. 2. 7]	
		4 既存床の撤去並びに下地補修	既存床の撤去並びに下地補修 品 質 JIS A 5759による	12 ビニル床タイル張り	ビニル								

内装改修工事	6	35	ロールスクリーン	(20. 2. 13)	7	8	耐候性塗料塗り	[7. 8. 2]～[7. 8. 4][表7. 8. 1]～[表7. 8. 3]	8-2	2	鉄骨製作工場	[8. 1. 5]	8-2	15	鉄筋の継手	[8. 3. 4]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		操作方法	スクリーンの種類	品 質 等			継手方法	呼び名 (mm)			適 用 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		・ﾌﾞﾛｯﾄﾞ式 (ｽﾀﾝﾄﾞ-付き)	・無地				・ガス圧接																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		・ﾌｳｯﾁｬｰﾝ式	・柄物				・重ね継手																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		・ﾁｬｰﾝ式	・遮光ﾀｲﾌﾟ				・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		・電動式	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		カーテン	・既存再利用する(養生方法：)	[2. 3. 1][5. 1. 6]			柱の配筋	[8. 3. 4][各部配筋参考図]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		・新設する	(20. 2. 14)(表20. 2. 1)	帯筋の組立ての形			※各部配筋参考図2. 2による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		施工箇所	形 式	装 置			名称・品質	ひだの種類			備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		片引	引分	電動			ひも引	手引																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
カーテンレール	・既存再使用する	[5. 1. 6]	打増し壁に	用いるｼﾌｵﾅｷﾞ	[8. 3. 7]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・新設する	(20. 2. 14)	種類	※「7	あと施工ﾌｵｰｶｰの材料」による	[8. 3. 8]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
材質	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製	・ｽﾃﾝﾚｽ製	間隔 (mm)	※500×500	・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
形式	・片引き	・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1組の本数	・ｼﾝｸﾞﾙ	・ﾀﾞﾌﾞﾙ	・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
37	天井点検口	目地形状	適 用 箇 所	寸法 (mm)	38	床点検口	本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法 (mm)	39	くつつきマット	市販品	材質	塩化ビニル製(ｺｲﾙ状、ｽﾃﾝﾚｽ製受枠)	塩化ビニル製(ｽﾃﾝﾚｽ製受枠)	硬質ｱﾙﾐﾆｳﾑ製(受枠とも)	ｽﾃﾝﾚｽ製(受枠とも)	40	人研ぎ製流し等	※ｼｬﾝﾃﾞｰ掛け目荒らし後、ｸﾗｯｸ等をﾎﾟｰｼｬﾝ系ﾊﾟｰﾃﾞｰ処理し、ﾎﾟｰｼｬﾝ樹脂系塗床材を厚さ1.0mm塗布し仕上げる。 ・再研ぎ出し(図示による)	41	屋内掲示板	・表面材の張替え	※特殊発砲ﾋﾞﾆｰﾙで張替える	・新設	枠の材質	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製	表面の材質	※特殊発砲ﾋﾞﾆｰﾙ張り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		・額縁ﾀｲﾌﾟ	下記以外全て	※450×450			・図示	下記以外全て	※600×600	・ｽﾃﾝﾚｽ製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

環境配慮改修工事

9

7ｽﾍﾞｽﾄ含有建材の処理

施工調査
分析による7ｽﾍﾞｽﾄ含有の調査 ・行う ・行わない
測定方法 ※「JIS A1481(建材製品中の7ｽﾍﾞｽﾄ含有率測定方法)」による。

7ｽﾍﾞｽﾄ粉じん濃度測定 ・行う ・行わない
測定方法 ※「JIS K3850 ー1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び定査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。

測定機関 ※厚生労働省新潟労働局に登録されている作業環境測定機関とする
※計数分析は第1号登録の第1種作業環境測定士が行う

※建築物の解体工事、アスベスト除去について、以下の基準を適用する。
・建築物等の解体等作業での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針(平成24年5月9日付け 技術上の指針公示第19号)
・建築物の解体工事における石綿粉じんへのばく露防止マニュアル

・建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル2011(環境省水・大気環境局大気環境課)

9.1.1

追加特記

2

7ｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材の除去

除去工法
※「改修標仕」9.1.3による。

9.1.3

3

7ｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の除去

除去工法
※粉じん飛散抑制剤等による湿潤化の後、手ばらしで行う。
・掻き落し・破碎・切断等による除去を行う。
※[9.1.3 7ｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材の除去]により、作業場を隔離する。

9.1.4

4

7ｽﾍﾞｽﾄ含有成形板の除去

養生等
建物内部で除去を行う場合、除去作業場所と他の場所を隔てるため、開閉部位(出入口、換気口、窓等)は閉とし、ガラスの破損箇所等で開となっている部位を養生シート等で塞ぐ。
7ｽﾍﾞｽﾄ成形板の種類

材 料 名	使 用 部 位	厚さ(mm)	備 考

※上記以外にアスベスト含有が疑われる建材があった場合は、速やかに監督員と協議すること。

5 除去した7ｽﾍﾞｽﾄ等の処分等
除去した7ｽﾍﾞｽﾄ等の処理
※密封処理(二重袋梱包)
・セメント固化
・溶融処理
・7ｽﾍﾞｽﾄの中間処理に適する溶融施設
・認定を受けた無害化処理施設

6 断熱7ｽﾌﾟﾙﾄ防水改修

工法の種類	施 工 箇 所
・P1BI	
・P2AI	
・PODI	
・T1BI	
・M3DI	
・M4DI	

7 外断熱改修

外装材の種類	施 工 箇 所	防火性能	備 考

既存外壁材の撤去 ・行う ・行わない
下地の清掃 ・行う ・行わない
断熱材を設置する部分の下地に欠損部がある場合
※[4.1.4 外壁改修工法の種類]による
通気層 ・設ける ・設けない
厚さ mm
建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を改修標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。

8 ガラス改修
本特記仕様 5 建具改修 16 ガラスによる

9 断熱・防露改修
断熱材打込み工法の材料
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾃﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材A種
・押出法ﾎﾟﾘｽﾃﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ保温材 (3種2号を除く)
断熱材現場発泡工法の材料
※A種1とし、難燃性を有するものとする。 吹付け厚さ mm

10 屋上緑化改修
工法
※「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日付け 建設省告示第1458号)による風圧力に対応した固定工法を改修標仕1.2.2[施工計画]で定める
かん水装置 ・設置する(図示による) ・設置しない
枯補償及び枯損処理
※引渡しの日から1年間 ・ 年間 ・ 年 月 日まで

11 透水性7ｽﾌﾟﾙﾄ舗装改修
既存舗装の撤去

舗 装 撤 去 箇 所	再 利 用 す る 層

9.1.5

追加特記

10

公共事業労務費調査への協力

※協力する

2 工事監理方式

共同監理 ・ 有り ・ 無し

3 適用基準等

・営繕工事電子納品要領(案)(国土交通省大臣官房官庁営繕部営繕計画課監修)
※工事運行マニュアル(新潟県土木部都市局営繕課作成)

4 総合図

※作成する

5 工事成績評定

※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。
(様式等は、工事運行マニュアルによる。)

6 排出ガス対策型等建設機械

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付建設省経機発第249号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着(黒煙浄化装置付)することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。
ただし、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは、排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

機 種	備 考
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル(車輪式) ・ブルドーザ ・発動発電機(可搬式) ・空気圧縮機(可搬式) ・油圧ユニット類 (以下に示す基礎工事用機械のうち、ﾍﾞｰｽﾏｼﾝとは別に独立したﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動の油圧ユニットを搭載したもの 油圧ﾊﾞﾏﾍﾞｲﾌﾞﾛﾊﾞﾏ・油圧式鋼管圧入・引拔機、油圧式杭圧入引拔機、ｱｰｽﾎﾞｰｶﾞ、ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ掘削機、ﾘﾊﾞｰｽｵｰｷｭｰｼｮﾝﾄﾞﾘﾙ、ｱｰｽﾄﾞﾘﾙ、地下連続壁施工機、全回転型ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン ※上記建設機械は、低騒音・低振動型とする。	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ(ｴﾝｼﾞﾝ出力7.5KW以上260KW以下)を搭載した建設機械に限る。

7 工事区分表
注)原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項 目	建	電	空	衛	昇	備 考
躯体関係						
1.RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通ｽﾘｰﾌ材及び取付け補強を要する型枠材及び取付け	○	○	○	○	
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補強	○				
	ｽﾘｰﾌ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	
2.S・SRC造・はり貫通口	S・SRC造貫通鋼管鋼管ｽﾘｰﾌ・補強	○				
	使用されたｽﾘｰﾌの穴埋め	○	○	○	○	
	予備ｽﾘｰﾌの穴埋め	○	○	○	○	
3.設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○				
	室内の基礎(建築設計図に記入のないもの)		○	○		
	屋外・屋上の基礎		○			
	屋上基礎で押さえコンにｱｯｶｰしない軽微なもの		○	○	○	
	機器取付け用ｱｯｶｰ・架台		○	○	○	
	屋内受水ﾀﾝｸ用の基礎	○				
仕 上 げ 関 係						
軽鉄天井・壁下地	補強を用するﾎｰﾄﾞの切り込み及び下地の補強	○				
	補強を要しないﾎｰﾄﾞの切り込み		○	○	○	
	開口部の墨出し		○	○	○	
電 気 関 係						
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共)		○	○		二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○			一次側
	機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線		○	○		
その他(工事区分を特に間違えやすい項目)						
天井材	取外し再取付(各種配管配線作業用)	○	△	△	△	小規模は要協議
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△	小規模は要協議
流し台、ガス台			○			
便所手洗いｶﾝﾀｰ			○			
洗面化粧台					○	衛生陶器は衛生設備
ガス漏れ警報器					○	
24h換気扇	機器納入				○	取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○			機器納入は衛生設備
湯沸器	機器納入				○	取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○			機器納入は衛生設備

10

発生材の処理等

1 再生資材の利用
下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再 生 資 材 名	規 格	使 用 箇 所	再資源化施設名・所在地	備 考

2 建設発生土の利用
盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発 注 機 関	工 事 名	発 生 場 所	施工会社名・連絡先	備 考

3 建設発生土の搬出
工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称	工事場所／施設所在地	連 絡 先	仮 置 場 所 の 有 無	備 考

4 建設廃棄物の搬出
工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	処 理 施 設 名 称	施 設 所 在 地	連 絡 先	備 考

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7 協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

9

化学物質の濃度測定

1)測定時期
・測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空調と設備のように換気を行いながら空調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。
・測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時と工事完了時に、それぞれ行う。
※測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、6)の措置を講じる時間を見込むこと。

2)測定対象物質
※ホルムアルデヒド (指定値0.08ppm以下)
※トルエン (指定値0.07ppm以下)
※キシレン (指定値0.2ppm以下)
※エチルベンゼン (指定値0.88ppm以下)
※ステレン (指定値0.05ppm以下)
・パラジクロロベンゼン (指定値0.04ppm以下)

3)測定室

・	・	室 (測定箇所	箇所)
・	・	室 (測定箇所	箇所)
・	・	室 (測定箇所	箇所)
・	・	室 (測定箇所	箇所)

9

化学物質の濃度測定

4)測定方法
測定機器
※パッシブ型採取機器
・監督員の承諾する機器

測定要領
※測定前の措置
測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉(造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。)を開放し、30分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。
※測定は次のイ～ハによる。
イ 上記測定前の措置の状態のままで測定する。
ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう10時30分から18時30分までの時間帯で測定する。
ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。
※その他
上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空調設備は稼働させたまとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたまとする。

5)測定結果の分析
※測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。

6)測定結果が指針値を超えた場合の措置
※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度4)、5)により、測定を行う。

7)報告書の提出
※完了検査日までに報告書を提出する。

10 電子納品
本工事は、新潟県CALS/EC整備行動計画(アクションプログラム)に基づく電子納品対象工事であり、以下の各項により履行するものとする。
1 受注者は、契約期間中に監督員と協議を行う場合、新潟県CALSシステム(以下「CALSシステム」という。)を利用して電子協議^(注1)を行わなければならない。
2 受注者は、CALSシステムを利用して、監督員との協議に従い工事完成図書の一部について、電子納品^(注2)を行わなければならない。
3 工事完成図書の提出方法および提出部数については、電子成果品としてC/D-R2部(枚)および紙による成果品として1部納品するものとする。なお、電子成果品のうち、「新潟県CALSシステムで交換された書類(打合せ簿等)」、「写真」、「参考図」については、電子成果物のみの納品とするが、それ以外の書類を電子成果品にて納品した場合は、紙による納品も追加するものとする。
4 受注者は、CALSシステムを利用して電子協議および電子納品を行うため、インターネットが利用できる機器および電子納品のデータを作成するための機器を用意しなければならない。
5 監督員が受注者に口頭・電話・電子メール等で指示等を行った場合、受注者は後日電子協議システムを通じ監督員の確認を得なければならない。
6 受注者は、CALSシステムの利用料を、新潟県よりCALSシステム運営業務を受託している者(以下「運営者」という)に支払うこと。なお、新潟県CALSシステムの利用料として、設計書内に積上げ計上している。
7 CALSシステムの利用料を支払った時は、すみやかに監督員に支払の事実を報告し確認を受けること。また、支払いの事実を証明する書類(銀行振り込み控えの写し等)を工事完了時に提出すること。
8 上記以外の電子協議および電子納品に関する詳細な事項については、受発注者協議にて定めるものとする。

(電子検査)
・実施する ・実施しない
電子検査に係わる詳細な事項については、別途県が公表する^(注3)「平成26年度電子検査実施要領」による。

(注1)電子協議とは、指示・承諾・協議・提出・提示・報告・通知等を、電子化された書面及びその他資料(図書類)にて行うことをいう。
(注2)電子納品とは、工事完成図書等の最終成果を電子成果品として納品することを用いる。ここでいう電子成果品とは、別途県が公表する^(注3)新潟県土木部策定の「平成26年度新潟県電子納品実施要領」に基づいて作成された電子データを指す。
(注3)新潟県CALS/ECホームページにて公表する。

三 条 市

株式会社 小林設計事務所

新潟県三条市南新保15番7号 TEL 0256 (32) 6237 (代)

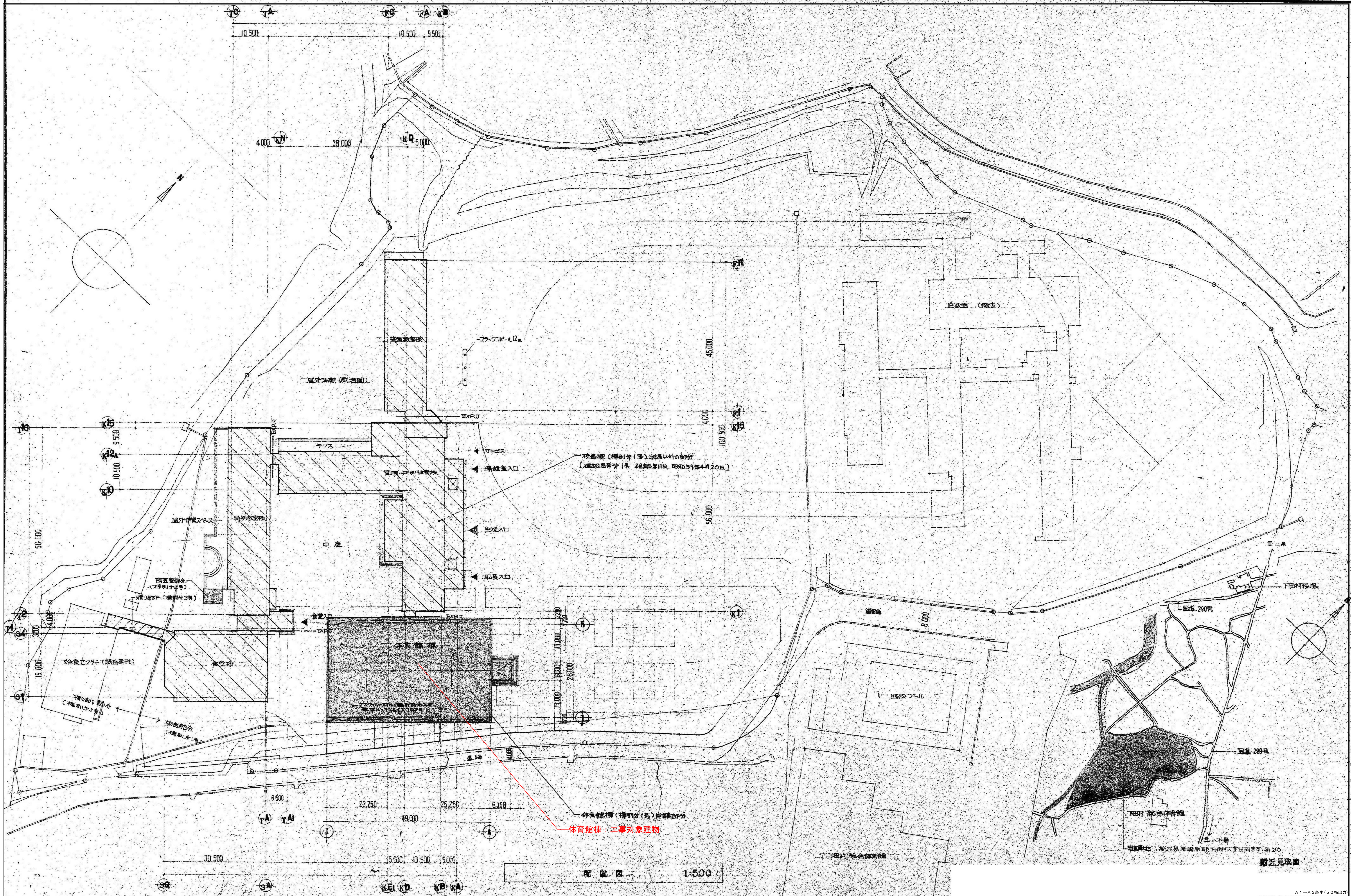
新 潟 県

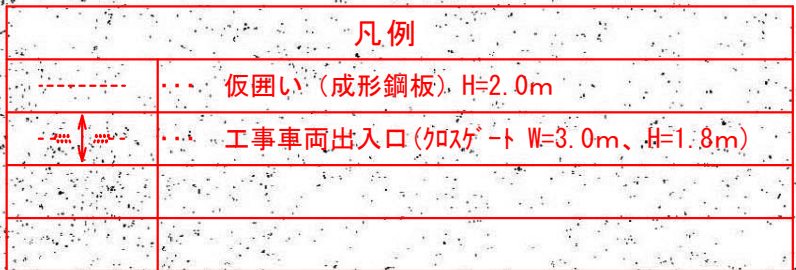
一級建築士事務所 小林設計事務所 知事登録番号(㊦)第536号 一級建築士(大臣)登録番号 第187261号 藤澤 一 様

TITLE
SUBJECT
建築仕様書(そのV)

SCALE
—
DATE
平成27年6月

CHECKED
(印)
DESIGNED
(印)
構 外 No.
電 機 No.
A-5





1. 仮囲い及びクロスゲートは、一期工事及び二期工事共に施す。

三 条 市



株 式 会 社 小 林 設 計 事 務 所

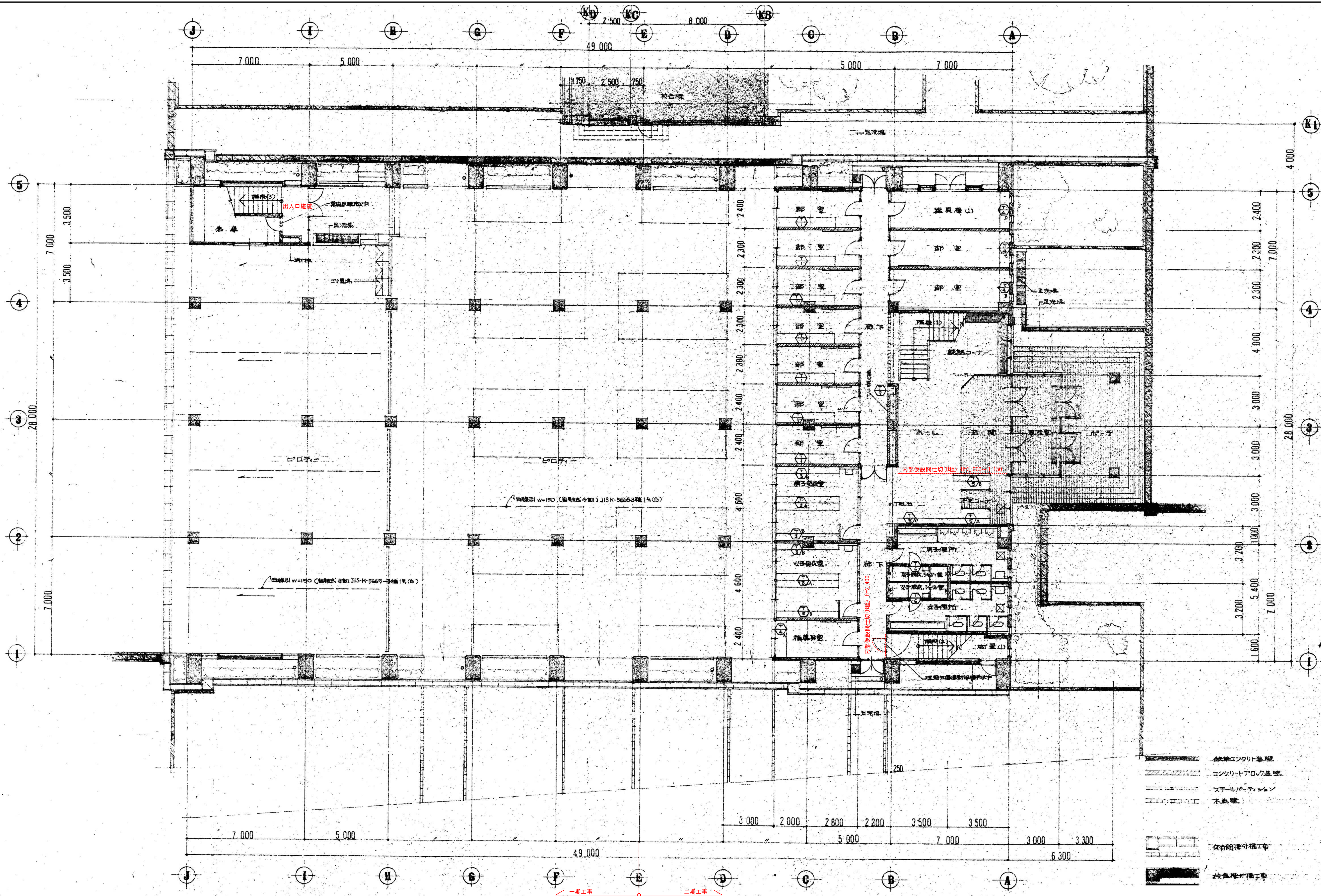
新潟県三条市南新保15番7号 TEL 0256 (32) 6237 (代)

TITLE	下田中学校天井等落下防止改修工事
SUBJECT	仮設計画図

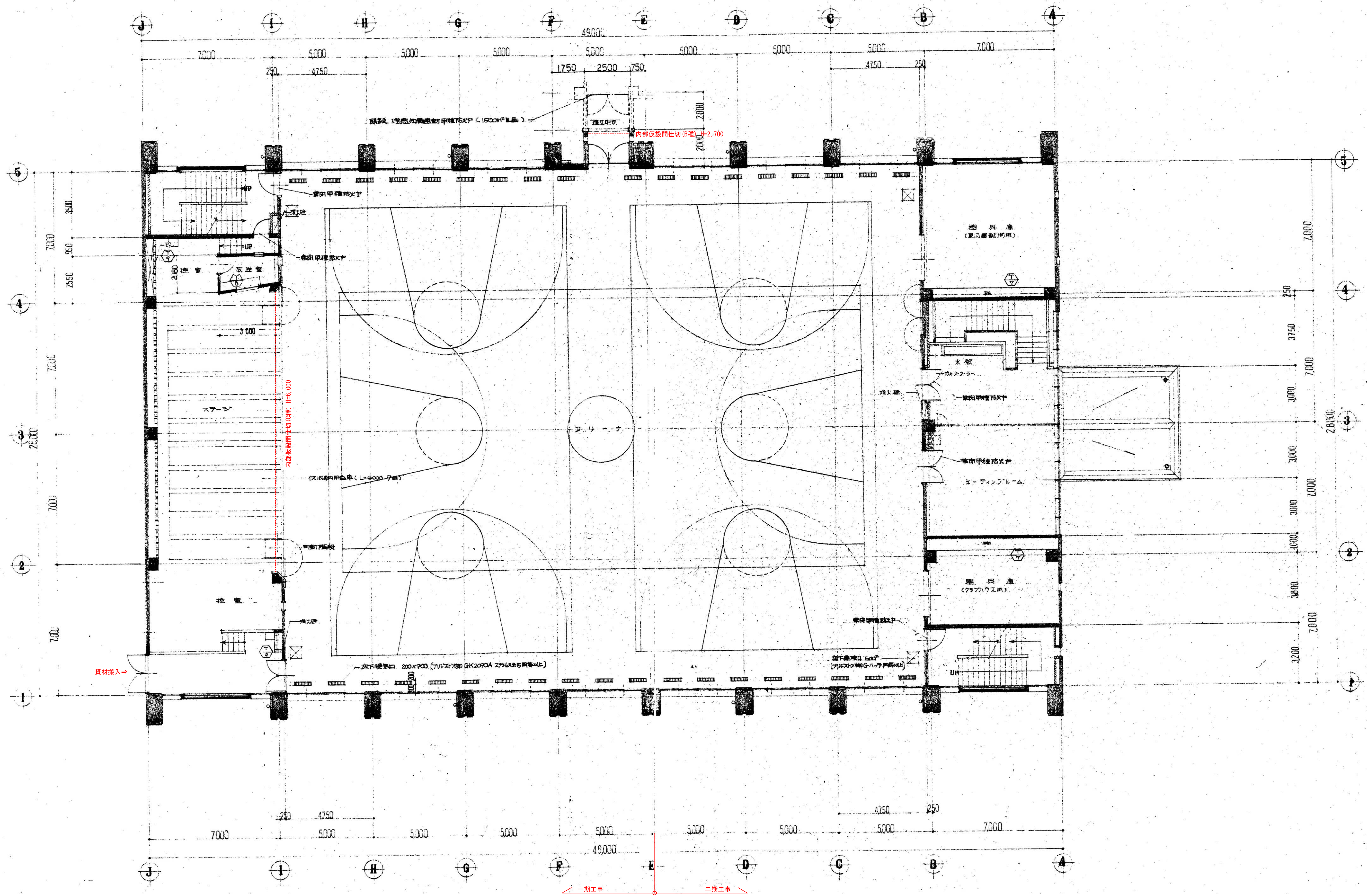
SCALE	1 : 500
DATE	平成27年6月

A 1→A 3 縮小(50%出力)

No. A-8



- 鉄骨コンクリート造
- コンクリートブロック造
- スチールパーティション
- 木造壁
- 外装改修工事
- 内装改修工事



■注記

1. 内部仮設間仕切りは、一期工事及び二期工事共に施す。

三条市



株式会社 小林設計事務所

新潟県三条市南新保15番7号 TEL 0256 (32) 6237 (代)

TITLE		SCALE		CHECKED (印)		DESIGNED (印)	
下田中学校天井等落下防止改修工事		1 : 100					
SUBJECT		DATE		意 構 外		No.	
2 階 平面図		平成 27 年 6 月		電 機		A-10	
一級建築士事務所 小林設計事務所 知事登録番号 (丸) 第536号				一級建築士 (大匠) 登録番号 第187261号 藤澤 一 様			

